



| | |
|--------------|---|
| Title | 大阪大学低温センターだより No.22 裏表紙 |
| Author(s) | |
| Citation | 大阪大学低温センターだより. 1978, 22 |
| Version Type | VoR |
| URL | https://hdl.handle.net/11094/21727 |
| rights | |
| Note | |

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

編集後記

ケンブリッヂ大学教授であったデュワーがいわゆるデュワー瓶を発明したのが1893年であるが、それ以来低温技術はずっと真空技術のお蔭をうけている。今でも低温実験に際してのトラブルの大半が真空技術の未熟さに原因していることを考えると、その影響力の大きさがよくわかる。

真空がXHVに挑戦する時代となり、その達成には極低温が不可欠となったが、この時代を迎えて低温と真空がよりよいイーコール・パートナーとなりうるのではないかという感じを持っている。

低温の応用は超電導をはじめとして数多くあるが、これらとの間で対等の協力関係ができてこそ、低温分野の真の発展が期待されるのではないだろうか。

(山本純也 記)

編集委員交代 松尾隆祐氏の長期外国出張に伴い徂徠道夫氏に交代することになりました。

大阪大学低温センターだより 第22号

昭和53年4月発行

編集責任者 長谷田泰一郎

発行者 大阪大学低温センター

吹田分室 大阪府吹田市字山田上

電話(06)877-5111

内線 4105

豊中分室 大阪府豊中市待兼山町

電話(06)856-1151

内線 2562

印刷所 龍史堂出版

池田市石橋3丁目3番1号

電話(0727)62-7169

代表 渡辺龍史

目 次

| | |
|---------------------------------------|--------------------|
| 卷 頭 言 低温実験事始め | 川村 肇 ... 1 |
| 研究ノート XHV実用化への道 | 工 学 部 堀 輝 雄 ... 2 |
| モット転移近傍の反強磁性 | 基礎工学部 吉森昭夫 ... 6 |
| 半導体不純物準位によるエレクトロニックラマン散乱 | 工 学 部 中島信一 ... 8 |
| 技術ノート シールド冷凍機を用いた液体ヘリウムクライオスタット | 低温センター 山本純也 ... 11 |

低温センター利用状況

| | |
|--------------------|----|
| 昭和52年度寒剤供給状況 | 14 |
|--------------------|----|

表 紙 写 真

小型冷凍機を熱シールドに用いた超電導マグネット用ヘリウム
クライオスタットの外観（詳細は本文 11 ページ）